

パワードライブ式 便器 (リトイレ 排水芯可変式)



このQRコードは
メーカー管理用です。

YBC-G30H系
YHBC-G30H系
YBC-G30HY系
YHBC-G30HY系

取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。
- 給排水統合仕様の場合は、リトイレ手洗カウンターの施工説明書と本説明書を併せてお読みいただき、施工を行ってください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ . . . 「注意しなさい！」
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ . . . 「してはけません！」
(一般的な禁止記号です。)

❗ . . . 「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告

⊘ 水かけ禁止
本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ 分解禁止
絶対に分解や改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ めれ手禁止
濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ 水場使用禁止
バスルームなど、湿気が多い場所には、設置しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ 禁止
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ 禁止
ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ 禁止
● AC100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。
※ 火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合)

❗ 指示実行
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⚠ 注意

❗ 指示実行
陶器は割れものです。
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

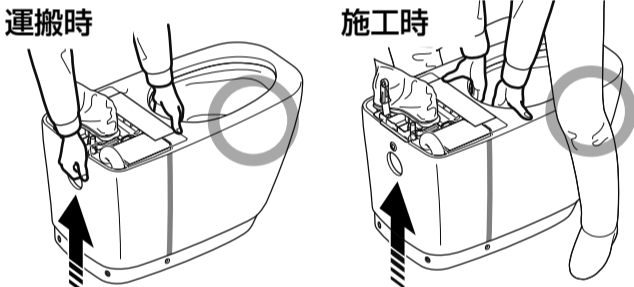
❗ 指示実行
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

❗ 指示実行
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

施工前のご確認

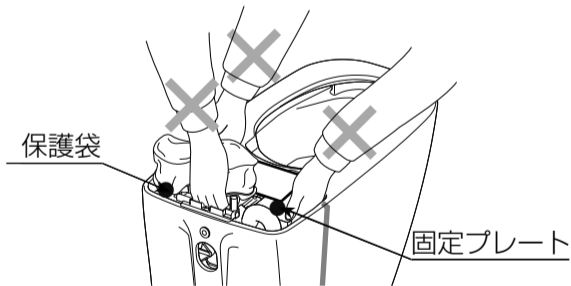
開梱時の注意点

❗ 下記のイラストにしたがって 便器を持つこと。



⊘ 便器本体の固定プレートを持たず、指示があるまで保護袋も取り外さないでください。

※ 固定プレートの変形により、正しく施工できなくなったり、異物が入り、動作不良や漏水の原因になることがあります。

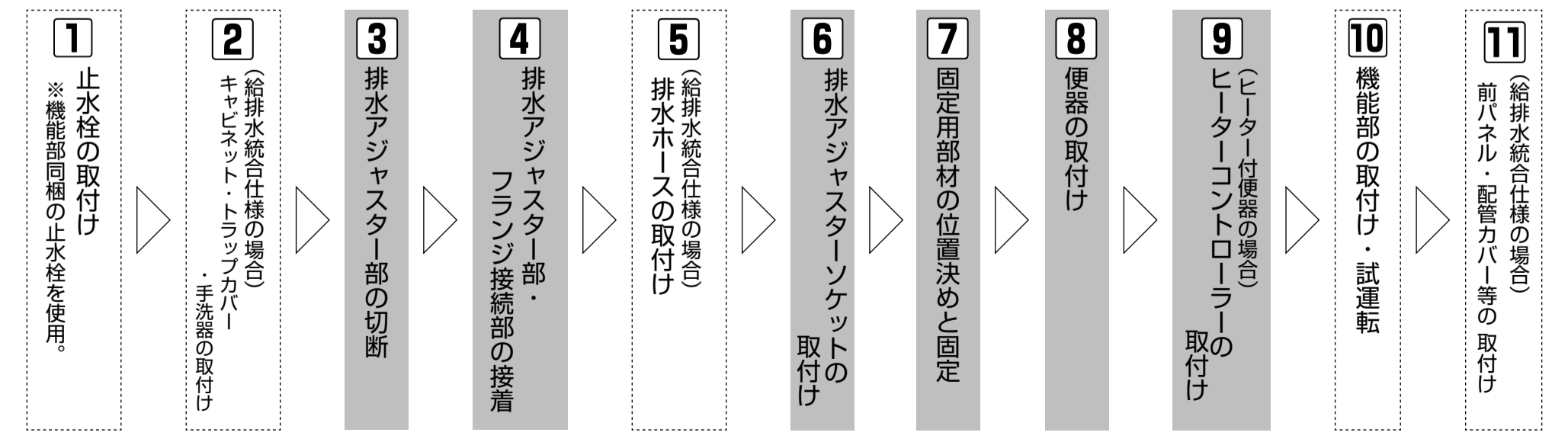


部品の確認 (梱包内容を確認してください。品番によって同梱される部材が変わります。)

便器	床フランジ用 止め金具	施工説明書 セット
<p>便器：1台 (ヒーター仕様便器の場合) ヒーターコントローラーが付属しています。</p>	<p>Tボルト：2個 ナット：2個 ガスケット：1個 ワッシャー：2個</p>	<p>施工型紙：1枚 施工説明書：1枚</p>
排水アジャスターソケット		
<p>排水アジャスター部：1個</p>	<p>(給排水統合仕様の場合) 排水アジャスター部：1個</p>	<p>フランジ接続部：1個</p>
<p>固定用木ねじ 類</p> <p>固定用木ねじ：6本 (Φ6×40) ワッシャー：6個 (AY仕様の場合) AYボルト (AY-23W：6本) が同梱されます。</p>	<p>ビスキャップ付木ねじ</p> <p>化粧キャップ：2個 便器固定用木ねじ：2本</p>	<p>固定部材類</p> <p>横固定部材：2個 固定用粘着材：1個 床固定部材：1個</p>

施工手順

は本書を、は各種仕様 商品の施工説明書に従って正しく取り付けてください。



給水・排水芯範囲

使用する水について

●機能部に同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で 接続ください。

止水栓・給水範囲について

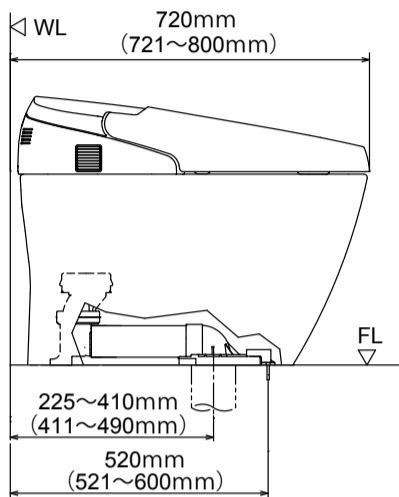
- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 機能部に同梱の施工説明書を読んで止水栓の位置を確認ください。
- 止水栓を付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ(LF-7Tを推奨)などでカバーをしてください。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。

排水芯について

- 既設便器がフランジ施工ではない場合や既設フランジを取替の場合は、ソケットアダプター(CF-200S または CF-200S-AY)を別途手配してください。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。 ※排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。

排水芯 225～410mm (排水芯 411～490mm)

現状のフランジをそのまま使用し、取替えが可能です。
(排水芯 411～490mm の場合は、便器を前出しして施工となります。)
施工手順は、本書に同梱されている施工説明書にしたがってください。



排水芯 200mm (別途、部材手配が必要)

- CF-G30HG(200)-SET … 排水芯 200mm ソケットセット
※CF-G30HG(200)-SET には、変換アダプター(CF-200AD) が同梱されます。
- 施工手順は、CF-G30HG(200)-SET に同梱されている施工説明書に従ってください。

排水芯 120mm (別途、部材手配が必要)

- CF-G30HG(200)-SET … 排水芯 200mm ソケットセット
※CF-G30HG(200)-SET には、変換アダプター(CF-200AD) が同梱されます。
 - ※同梱の排水ソケットを反転させて施工します。
- 施工手順は、CF-G30HG(200)-SET に同梱されている施工説明書に従ってください。
※カスカディーナ(DC-1000 番台、DC-2000 番台)以外からの取替えの場合は、変換アダプター(CF-200AD)の別途手配が必要になります。

施工のポイント

禁止 機能部施工するまで外さない。

目印シール
型紙

Point 6
取付け時は目印シールを型紙で位置合わせして施工する
= ⑧ 便器の取付け

排水アジャスターソケット

Point 2
排水アジャスターソケットを床へ固定する際には、不陸にご注意ください。
※排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。
= ⑥ 排水アジャスターソケットの取付け

禁止 結束バンドは外さずに施工してください。
排水ソケットに排水エルボが確実にはめ込まれていることを確認してください。
※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

排水エルボ 排水ソケット
結束バンド

フランジ接続部

Point 1
塩ビ用接着剤は必ず両方に塗布すること。
排水アジャスター部とフランジ接続部の奥まで差し込むこと。
= ④ 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

Point 3
施工型紙を使用して位置決めすること。
= ⑦ 固定用部材の位置決めと固定

Point 4
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。
付着している場合はきれいに取り除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。
= ⑦ 固定用部材の位置決めと固定

Point 4
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取り除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。
= ⑧ 便器の取付け

Point 5
気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。
②20～30℃のぬるま湯で温める。
など柔らかくしてからご使用ください。
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。
= ⑧ 便器の取付け

Point 7
固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
= 便器の取付け後のご確認

施工方法

1 止水栓の取付け

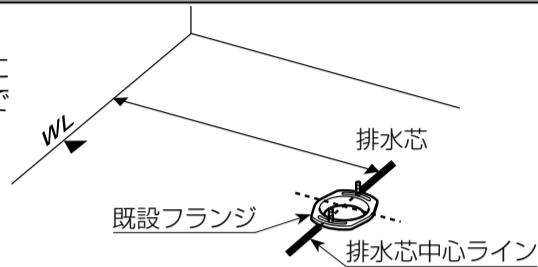
機能部同梱の止水栓を機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

2 (給排水統合仕様の場合) キャビネット・トラップカバー・手洗器の取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

3 排水アジャスター部の切断

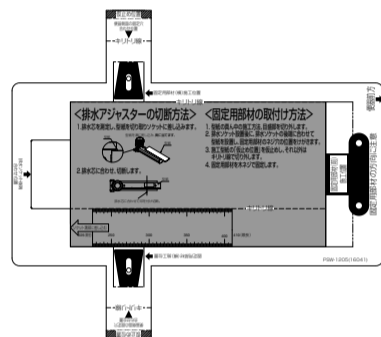
(1) 排水芯を測定する。
排水芯中心ラインを壁と平行に書き、後ろの壁から排水芯までを測定します。



注意

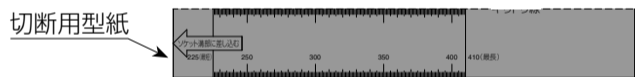
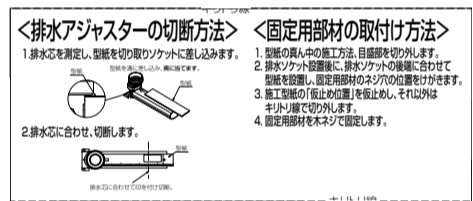
- 便器の位置を決める重要な線です。排水芯中心ラインを必ず引いてください。
※ 平行に線を引かないと、便器・機能部が壁に干渉する恐れがあります。

(2) 施工型紙の ■ 色部分を切り取る。



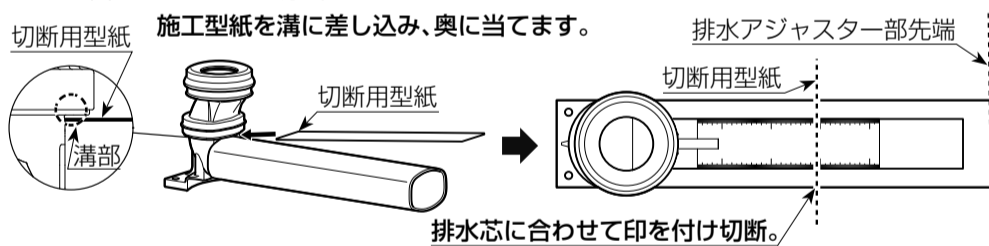
(3) 切断用の型紙を切り取る。

■ 色部分は、排水アジャスター部切断のメジャーになります。



(4) 排水アジャスター部を切断する。

切り取った型紙を排水アジャスター部の溝部に差し込み、測定した排水芯の目盛りの長さで切断します。

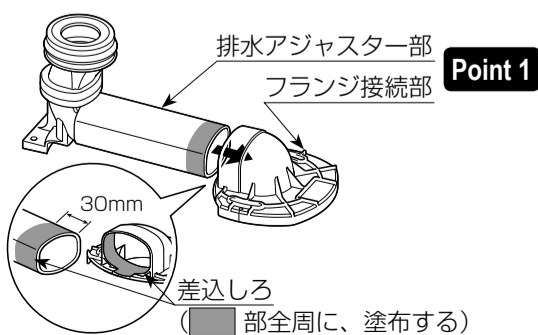


注意

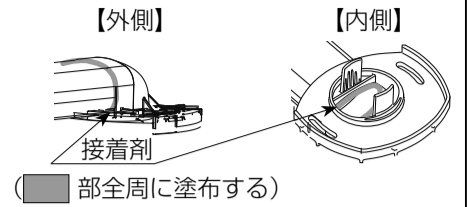
- 排水アジャスター部やフランジ接続部を落下させないでください。
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 排水アジャスター部を長く切らないでください。
※ 便器が壁寄りに設置されてしまうため、便器と壁が干渉し、施工できない恐れがあります。
- 切断は排水アジャスター部先端に対して平行になるように行ってください。
※ 斜めに切断すると、漏水・臭気発生の原因になります。
誤って切断した場合は、以下手配ください。
- 切断時に排水ゴムジョイント部を傷つけないようにしてください。
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。
※ バリがある事で、漏水する恐れがあります。

4 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

(1) 排水アジャスター部とフランジ接続部に接着剤を塗る。
差ししろ (■ 部分) に塩ビ管用接着剤を2、3回重ね塗ります。

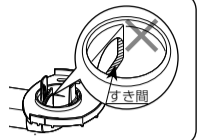


(2) フランジ接続部を差し込み、接続部両端に接着剤を塗る。
フランジ接続部を奥まで差し込み、端部 ■ 色部分に塩ビ管用接着剤を塗ります。



注意 Point 1

- 奥までの差し込み・両端部に接着剤塗布が確実にしてある事を確認してください。
※ 不十分ですと、漏水・臭気発生の原因になります。

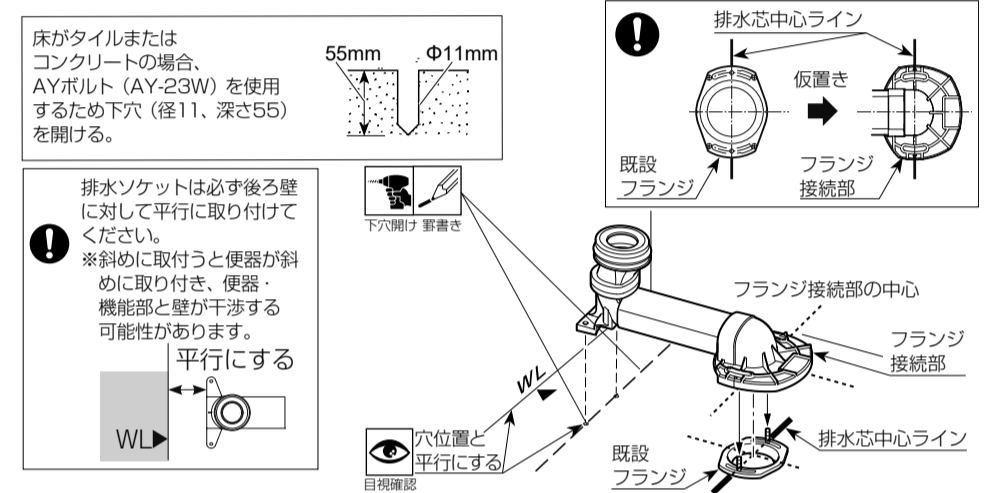


5 (給排水統合仕様の場合) 排水ホースの取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

6 排水アジャスターソケットの取付け

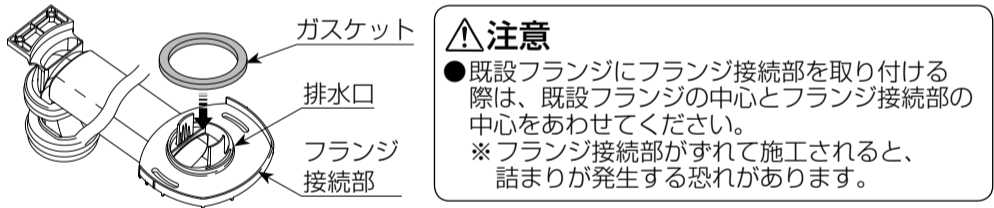
(1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。
③で引いた排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて排水アジャスターソケットを後壁に対して平行に仮置きし、けがき・下穴をあけます。



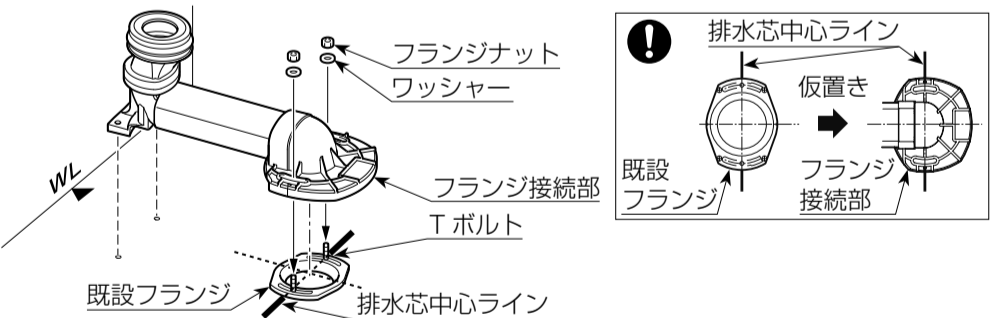
注意 Point 2

- 排水アジャスターソケットの仮置き時に、床面の傾きや不陸を確認ください。
※ 排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。

(2) 排水アジャスターソケットにガスケットをつける。
排水アジャスターソケットを外して反転させ、フランジ接続部にガスケットをつけます。

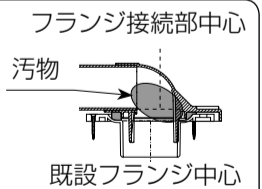


(3) 排水アジャスターソケットを既設フランジに固定する。
再度、排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて同梱の床フランジ用止め金具を使用し固定します。

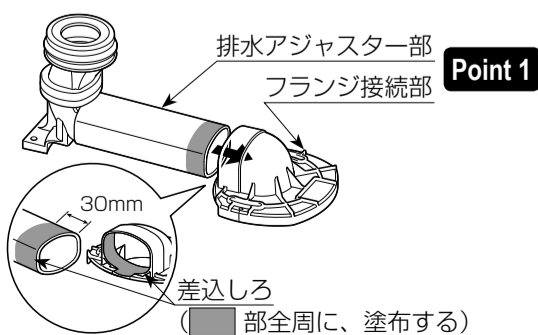


注意

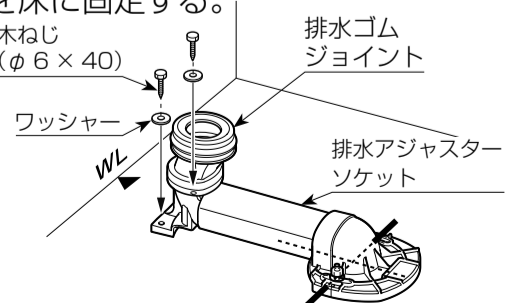
- 既設フランジにフランジ接続部を取り付ける際は、既設フランジの中心とフランジ接続部の中心をあわせてください。
※ フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する恐れがあります。
- フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。
※ 既設フランジが破損し、漏水する恐れがあります



(1) 排水アジャスター部とフランジ接続部に接着剤を塗る。
差ししろ (■ 部分) に塩ビ管用接着剤を2、3回重ね塗ります。



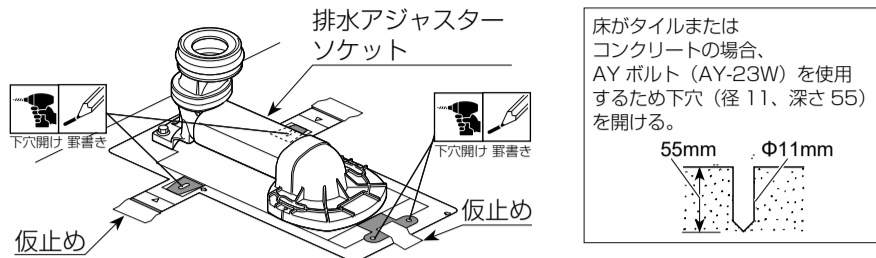
(4) 排水アジャスターソケットを床に固定する。
固定用木ねじ・ワッシャーまたは木ねじ (φ6×40) はAYボルトのねじを使用し固定します。



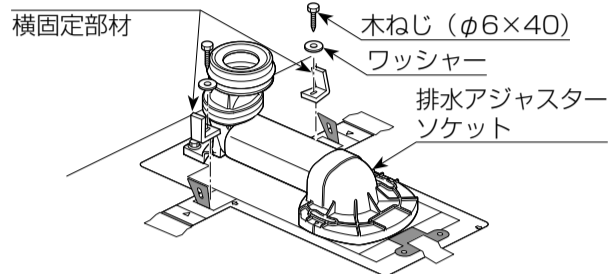
(5) 排水アジャスターソケットの接続部の漏水確認をする。
排水ゴムジョイント側から水を流し、接続部から漏水が無いことを確認します。

7 固定用部材の位置決めと固定

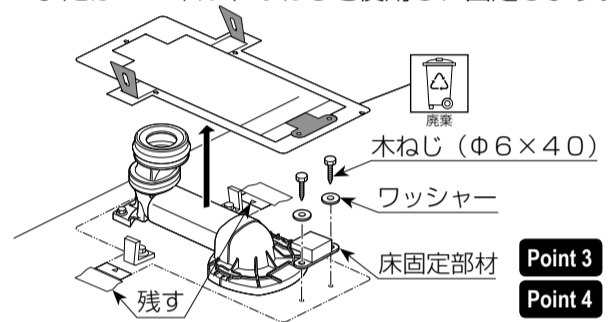
- (1) 施工型紙を仮止めし、けがき・下穴をあける。
排水ソケットの先端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めて、けがきしてから下穴をあけます。



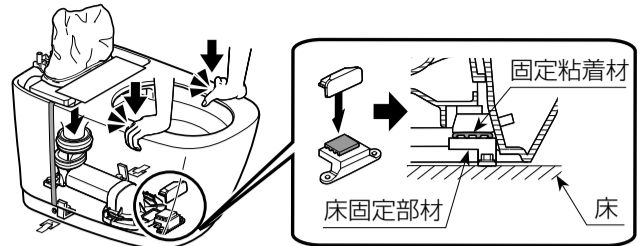
- (2) 施工型紙の仮置き部を開き、部材を置き床に固定する。
横固定部材仮置き部を開き、横固定部材を置き、木ねじ・ワッシャーまたは AY ボルトのねじを使用し、固定します。



- (3) 施工型紙の一部を切り取り、床固定部材を床に固定する。
仮止めした施工型紙の両端以外を切り取り、床固定部材を木ねじ・ワッシャーまたは AY ボルトのねじを使用し、固定します。



- ③ 便器と床固定部材を固定粘着材で圧着させる。
便器をゆっくり下ろしてから便器前側を押し下げ、床と便器の隙間がなくなるまで固定粘着材を潰します。



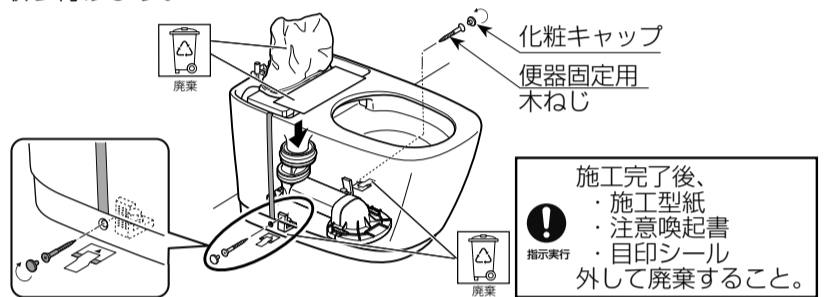
⚠ 注意

- 機能部を取り付けるまでは、保護袋を外さないでください。
※ 保護部周辺をキズつけたり、ゴミなどの異物が入ると漏水する可能性があります。
- 便器を持ち上げる時は、リムの内側を持って持ち上げてください。
※ 部品が外れや破損してケガしたり、腰を痛めたりする可能性があります。
- 便器の台座を排水ソケットの上に載せないでください。
※ ソケットが破損したり、パッキンを傷めて漏水する恐れがあります。
- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。
※ 汚物、トイレペーパーなどのつまりの原因になります。

リムの内側を持って持ち上げる



- (3) 便器を木ねじで固定、化粧キャップをつける。
便器側面を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップを時計回りに回して取り付けます。

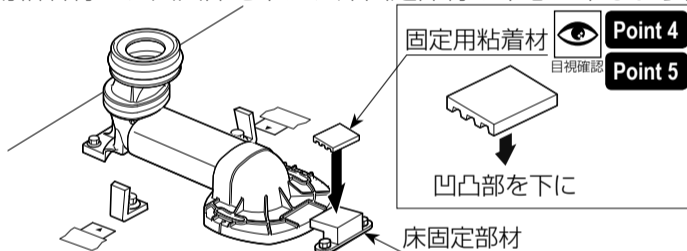


⚠ 注意

- 便器固定用木ねじは、左右交互に少しずつ締め、締め過ぎないようにしてください。
※ 便器の固定不良や破損の原因になります。
- 化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。
※ 逆に回したり、無理にひきはがした場合、破損の恐れがあります。

8 便器の取付け

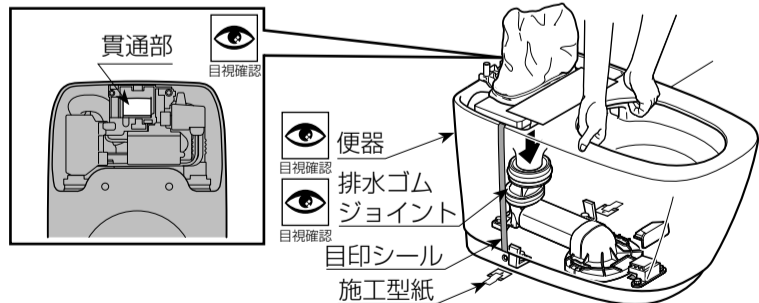
- (1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。
固定用粘着材は、凹凸部を下に、床固定部材の中心に来るように置きます。



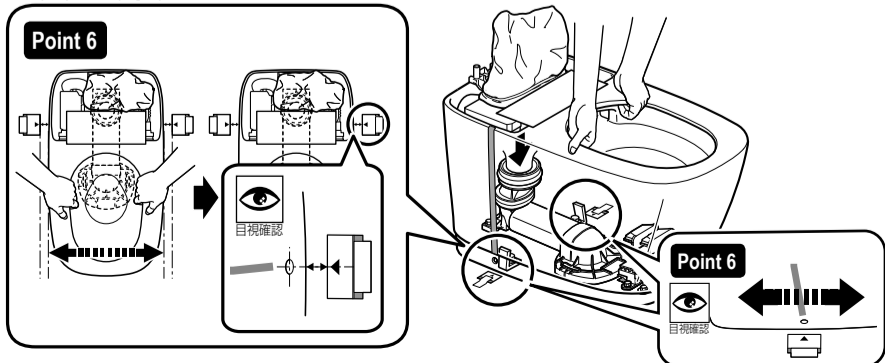
⚠ 注意

- Point 4** ● 固定部に水分や切粉等のゴミが付かないようにしてください。
ゴミが付着している場合はきれいに除去してください。
※ 便器の固定不良の原因になります。
- Point 5** ● 固定粘着材をぬるま湯で柔らかくする場合は、直接入れないで梱包ごとビニール袋に入れて暖めてください。
※ 便器の固定不良の原因になります。
- 防振シートを使用の場合は、固定用粘着材を取付ける前に、床排水用ソケットスペーサーの施工説明書を参照して施工してください。
※ 便器の固定不良の原因になります。

- (2) 便器と排水ソケットを接続し、固定粘着材を圧着する。
① 便器を持ち上げ、便器後方の貫通部・便器側面の目印シールと施工型紙の目印で位置を確認し、便器を排水ソケットに接続します。

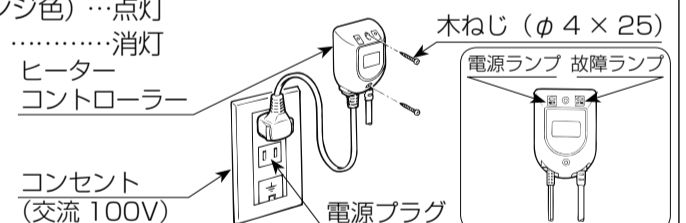


- ② 施工型紙で左右・前後の位置を合わせる。
目印シールを施工型紙の位置合わせ部に合せ、便器が正面を向くように位置を調節します。



9 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

- (1) ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。
電源コードの長さ (1.5 m) を考慮して、木ねじで固定します。
- (2) 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。
電源プラグをコンセント (交流100V) に差し込み、確認。
・電源ランプ (オレンジ色) ……点灯
・故障ランプ (赤色) ……消灯



10 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

11 (給排水統合仕様の場合) 前パネル・配管カバー等の取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどが無いことを確認してください。
スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。
※ 洗剤の気化したガスが故障・破損の原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。
 - 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。
検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。
※ 取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 - 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
 - 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。
※ 排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
 - 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。
- Point 7** ● 固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※ 十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
 - 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。